



## 企業概要 company profile

株トクサイ  
代表取締役 外岡 幸隆

- 事業内容 各種金属および各種合金の伸線加工
- 創業 1950年9月1日
- 住所 長岡市南陽1-1027-6

TEL.0258-22-2171

ほんの一言  
髪の毛の1/10程度の細い金属線を作る会社です。  
(最少径2.5ミクロン=0.0025ミリ)

貪さん  
いりっしゃい

会員企業の「顔」をご紹介する  
「会員さんいらっしゃい」  
◆職員の取材により企業の「顔」(商品・歴史・経営・人物など)をご紹介する、会員企業の情報発信コーナーです。

## 長岡出身者が創業

（株）トクサイは、戦後間もなく1950年に東京品川区で起業され、1967年には故郷・長岡にも工場を設立しました。その後、業務拡大に伴い工場を移転するとともに、社名を「株トクサイ」に変更し現在に至ります。

株トクサイの強みは、金属の伸線加工技術であり、難加工材のタンクステンやモリブデン（硬く、重く、高融点）を伸線加工することができました。加工方法は、熱を加えるがら入口が広く出口が狭い「ダイス」という部品何度も線を通し徐々に細くする伸線加工（下段右の写真、最小径Φ0.01mm）や、薬液中で溶

かす電解研磨加工があります。（最小径Φ0.025mm）。またステンレスや銅合金などの特殊細線研究所として産事を上げました。長岡市の出身である飯高康三氏が独立してきました。長岡市の「株特許細線研究所」としての業を始めました。

その後、業務拡大に伴い工場を移転するとともに、社名を「株トクサイ」に変更し現在に至ります。

近年では、より細い線は電子部品や内視鏡等の医療用器具を利用しているほか、細線を短くカットしたヒンが半導体検査装置等に利用されています。

世界でも他に例の少ない加工技術は、創業以来培った技術力（伸線速度、熱処理コントロールなど）もさることながら、現場の職人たちの技能にも支えられています。独自の技術力が強みである当社の製造する機械は、全てオリジナルで作り上げたもので、新分野開拓や、他社とのコラボレーションを進めています。

「今後は、創業事業である照明市場での生き残りを図りながら、医療分野や半導体の分野などを中心とした加工方法は、熱を加えるながら入口が広く出口が狭い「ダイス」という部品何度も線を通し徐々に細くする伸線加工（下段右の写真、最小径Φ0.01mm）や、薬液中で溶

かす電解研磨加工があります。（最小径Φ0.025mm）。またステンレスや銅合金などの特殊細線研究所として産事を上げました。長岡市の出身である飯高康三氏が独立してきました。長岡市の「株特許細線研究所」としての業を始めました。

その後、業務拡大に伴い工場を移転するとともに、社名を「株トクサイ」に変更し現在に至ります。

近年では、より細い線は電子部品や内視鏡等の医療用器具を利用しているほか、細線を短くカットしたヒンが半導体検査装置等に利用されています。

世界でも他に例の少ない加工技術は、創業以来培った技術力（伸線速度、熱処理コントロールなど）もさることながら、現場の職人たちの技能にも支えられています。独自の技術力が強みである当社の製造する機械は、全てオリジナルで作り上げたもので、新分野開拓や、他社とのコラボレーションを進めています。

「今後は、創業事業である照明市場での生き残りを図りながら、医療分野や半導体の分野などを中心とした

## 「豪技」認定、そして未来へ…

ど、まさに「巧」と呼ぶにふさわしい技能とちりります。

この独自技術が評価され、NPO法人長岡産業活性化協会N-AZEが優れた製品技術を認定する豪技2018

にも選定されました。「こうがは長岡の方言で『すごい』を指す言葉です。

外岡社長は、「70年余りで培った技術力と、ものづくりに懸ける巧たちの技に支えられた技能は、そうそう他社に真似できるものではありません」と力強く話します。

「今後は、創業事業である照明市場での生き残りを図りながら、医療分野や半導体の分野などを中心とした

## (株)トクサイ

細線技術の更なる高度化・先端化・応用化を追求！

（経営指導員：小林 雅典）

▶米国と製品の比較、目を凝らさないところから、なぜ「いいですね」と、今後の展望についても和やかにお話しいただきました。

